

平成 29 年度 第 2 回 白馬村図書館施設検討委員会

日時 平成 29 年 9 月 27 日 (水)

午後 4 時から

場所 白馬村役場 201.202 会議室

- 1 開会 生涯学習スポーツ課 松澤課長
- 2 あいさつ
- 3 協議事項
 - (1) 図書館施設の建設について
 - (2) 今後の日程について
 - (3) その他
- 4 閉会

開催日時	平成29年9月27日（水）PM4:00～6:00
開催場所	白馬村役場 201.202 会議室
出席委員	富山正明、小林英雄、小川由美子、太田和也、宗川尚美、長島律子、高橋英子
事務局	生涯学習スポーツ課長補佐兼生涯学習スポーツ係長、公民館主事、太田副村長
傍聴者	蓮井

◆あいさつ 花井氏

年度年度で区切りをつけて報告していく。個人レベル、ポジションレベルで発言をしていき 29 年度に区切りをつけて締めていく。それ以降は全国的に、世界的に、白馬的に、ある観点から絞り出していくが、それにはプロが必要になる。しかしそれは 30 年度以降に進めていくことになる。まず 29 年度は図書館を使用する、使用しない人の意見をリサーチしていく。基本の図書館がどうあればいいのかを 29 年度は進めていくことが良いと考える。

検討委員会のメンバーで視察、ワークショップを行い、色々な人と意見交換をしていくことが大切になる。

◆協議事項 図書館施設の検討について

委員長 最近進められている図書館の傾向は？

花井 複合施設としての図書館が増えている。例えばホールを併設しているところがある。楽譜を多く集めている図書館はホールと連携して事業を行っている。3Dプリンターやレーザーカッターなどを設置し、アイデアを形にするクリエイティブな場としての図書館もある。併設で運動施設を設けている図書館もある。世界にはディスカッションできる場やカフェを設けているところも多く、デンマークでは子供たちが走り回っている場もあり、世界中で新しい図書館を模索している。群馬県の太田市では美術館を主とした図書館、別府市では図書館を主とした美術館を構築中。福智町では中学生が建築に関わり、一緒に図書館の検討を行っている。建つ前はいろんな意見を出し合ってよいと考え意見交換している。そのような図書館に抵抗がなくなっているのが現状。

委員長 花井さんに聞いてみたいことあれば。

委員 白馬村ならでは、というのをどう捉えるが良いか。

花井 山岳という世界に誇るものがあるので、山をメインに行っていくのはどうか。白馬に行けば山に関する資料がたくさんある等。史料を集めるだけでなく、どう取ってもらい学習していくか。歴史をきちんと見直して、白馬らしいものをアピールいくことが必要になる。

委員長 白馬らしいものを突き詰めていく必要があるが、村民の方が幅広く使える場として意見を吸い上げていく必要がある。保護者会などで何か意見があったか。

委員 同世代の親とかに話していく上で、幼稚園を作るときに同様に意見を聞いていったが、その時に白馬らしさが反映されなかった。そのことからあまり積極的な人がいないので、期待を裏切らないようにしていきたい。

委員長 身近な方の素直な意見が欲しい。特に図書館に行かない人の意見があれば良い。なぜ行かないのか、等の意見を聞ければ良い。悪い意味での白馬らしさ、うやむやになるということは絶対にないようにする。可能な限り意見を吸い上げていく。白馬高校のしろま学舎の子らが勉強の一環として「白馬村図書館の提案書」を作成している。白馬高校の子らが一生懸命勉強して理想の図書館像を提案してもらっているので、大事に活用していくことが大切。

他の図書館が行っている例などが添付されている。外国人が多いので、外国の方との交流なども白馬らしさとして大事だと思われるのでここからも参考にすることがある。

委員 図書館協議会で新しい図書館について意見交換してきた。図書館協議会は運営や魅力的なものにするにはどうするかというもので、施設検討委員は建設が主題だと聞いた。今までに図書館協議会で議論してきた内容を施設検討委員会でも盛り込んでほしい。今までの要旨を提示してほしい。

課長 今までの資料をまとめてこれからの資料に持ち込んで議論していきたい。

委員 全部ではなく大事なところだけで良いのでまとめてほしい。

委員長 議事録の要旨だけ、箇条書きでも良いので作って提示してほしい。

委員 協議会自体の回数も少ないのでそんなに難しい資料が多いわけ

ではない。公募できている人が書いた意見文を村民の声として表に出してほしい。公募の人数すら知らない。

課長 みなさんより以前の公募委員の方の意見文も持ち出して良いかチェックして提示していきたい。前回 28 年 12 月に花井さんと呼び講演会、ワークショップを行った。今年度も 1 回はやりたいと思っている。図書館に行かない人の意見を幅広く集めていきたい。学校の方は学校の事業などとして生の声を集めていきたい。

委員 図書館委員会の委員長、副委員長には話を聞くのが早い。村民が使う図書館とは少し違うと思うが、運営する側として中学生の思う夢を役員が引き上げるのは良い

委員長 こんな図書館がいいなと思う夢を聞いてみるのは良い

課長 学校の図書館を委員が見るのは可能か？

委員 可能です。

課長 それぞれに司書がいて管理している。図書に親しむことを学校で行っており、そういう部分を延長していくと村の図書館へ通ずる。学校の図書館を委員に見てもらい、利用人数や時間帯などを調べてみる。スペースの問題だけじゃないことなど、そういうのを学ぶ機会として図書館訪問をしたい。

花井 図書館を作るとなると建築に目が行くが、利用者がどう使いたいかを議論する必要がある。図書館協議会で 6 年間やってきた意見を示していくことが大事。学校との関わりでは、小学 5, 6 年生からは意見交換ができる。5 年、6 年、中学生で意見交換していく。世界の事例を見せて、もっと自由な図書館を提言してもらおう。子どもと花井さんだけの議論なども良い。

委員長 学校で時間を確保することはできるか？北小の生徒はよく利用しているので、もっと意見を出してもらいたい。

委員 子供は学校、村の図書館しか知らないので、視野を広げた上で意見をだしていきたい。

委員長 図書館に興味のない大人にも最近の図書館を知ってもらうワークショップを開催する。より意見が出やすくなるかもしれない。

委員 ケーブルテレビを上手に活用する。時間帯を変えて図書館のことについて情報発信していく。

花井 アメリカではケーブルテレビと図書館が連携している。この検討の段階で上手に連携していく。

委員長 図書館を核にして交通機関なども連携していく。いろんな媒体を使用していく。ケーブルテレビも活用する。

委員 テレビは一方方向なので他に手段はないのか。関心のない方をどう取り込んでいくのか。

委員長 そこが1番難しい。図書館を利用している人は村民の1割程度で、関心のない方が6, 7割はいる。白馬村の図書館は本が少ないので大町に行く人もいる。

花井 ご近所さんやPTAの方などに聞いてみるだけで変わる。アンケートだけではなく、休憩時などに気軽に話をきいて意見を一本釣りしていくのも良い。

委員 PTA全員で集まるのは年1回程度。他には委員会があり、そこで提案をする程度しかない。

花井 会議の場面だけではなくタバコ休憩時などに気軽にかしこまらずに聞いてみてほしい。

課長 行政側から声高らかに図書館を建てると宣言はしていないので、議会で建設をする旨の発言をする。行政に不信感を持つ人もいる。

委員 遊具付きの公園の話が村長選の際に立ち消えになった。

課長 村長選があっても図書館建設を進めていくために、本気度を見せるためにも名言していく。

委員 新しい図書館の提言をしてから20年が経った。子どもも大事だが、年寄りの意見も大切にしてほしい。白馬には木彫りの文化があり、木彫り七人衆がいるので、これを観光に活かしていきたい。また、木彫り職人の跡継ぎがないので何とかしてほしい。日本中探してもこれだけ木彫り文化が豊かなところもないので、図書館の1コーナーに置くとかする。役場に行かなくても、図書館の職員に聞けば解決するような場所を目指す。

花井 誰がトップを務めるのかを早く決めるのが大切。役場、理事者なのか指定管理など、行政の中で決めていく。また、達成率を出していく。運営計画を設計士に早く見せることで良い設計もできるし、設計も早くなる。実現可能・不可能はさておき、言っておく方が良い。

委員長 建てる宣言も大切だが、誰がやるのかも早く宣言していく。そうしないと、建物があっても人がいない場になってしまう。

委員 保護者の間で意見を集約する場を設けることはできる。遊具がある図書館がほしいとの声。支援ルームも耐震化の話から新しくするという話を聞いたので、それと一緒に複合施設として作るのも良い

課長 支援ルームを新築するならば、図書館・支援ルームの単品として作るのではなく親御さんが集まれる、庭がある、本も読めるという場

所を作れば良いかなという話。

委員 障がい者施設も建設するというような話を聞いた。

花井 公共施設の統合や見直しはあがっているのか。

課長 施設の統合は検討するレベルにあがっただけで、これから話を進めていく。

副村長 図書館がその1つになるかもしれない

花井 各地で施設の統廃合の話が上がっている。

課長 施設をたくさん持っても維持管理でお金も人手も足りない

花井 愛知県の西尾市で今やらせてもらっている。あらゆる施設があるのでお金がかかってしまう。だから複合案が出てくる。

委員長 結果として複合施設としてなる様に進めていくのはありだと思うが、図書館ありきの話で進めていく。

委員 第1回の協議録を見せてもらったが、会議が終ってすぐに頂きたい。なぜなら「次回に向けて」に詳細なことが書かれているから。

係長 ホームページには手直しして近日中にアップする予定。

課長 ホームページを見ることが出来ない人に対しても広報していく。

課長 委員の方から情報発信してもらって良い。

委員 今どんな図書館を望むかまずイメージができない。余所の図書館にどんなものがあるのかなどケーブルテレビとかで流してほしい。

委員長 意見を聞くとはいっても土台がなければ意見は出せない。ケーブルテレビや花井さんを通じて、村民に世の中にはこんな素敵な図書館があるなどをアピールして、良い意見を集められる機会を増やしてほしい。

委員 役場の方に頼るだけでなく、幼稚園は私が進め、小学生はPTAなどに任せるなどして枝分かれをしていかないといけない。

委員長 大人は役場にまとめてもらい、学校は学校でまとめてもらう。堅苦しく意見を出してもらうだけでなく、すすめていく。

副村長 村民の声を聞いていかないと始まらない。施設よりも人の方を検討、複合案があるかなど。スケジュールをもう少し確定して、皆さんの意見が沸いてくるような場を作りたいと思っている。

係長 次回はまた日程を会長と相談をした後にご連絡する予定でいる。

委員長 次回はどんな感じで進めていくか。

課長 次回は図書館に来ない人の意見を聞いていきたい。図書館に来ない9割の人、他の図書館にもいかない人の意見を聞きたい。できたら花井さんの日程を調整してワークショップを開催したい。できたら子どもたちのいる場所へ入りたい。

花井 参加するのはやぶさかではない。

委員長 次回は色々な事例を見せてもらいたい。

花井 世界の図書館という本を持っていくので参考にしてほしい。

課長 図書館に来ない人の意見を集めるきっかけを作りたい。そのため
の講演会やワークショップを学校等で行いたい。委員の方にも見て頂
きたい。

花井 学校のスケジュールも併せて進めていってほしい。

委員 文化祭の1コーナーで図書館施設の検討を行っている旨を宣伝
していく。模造紙にふせんなどで意見を貼ってもらうようにしていく。

委員長 文化祭だけでなく青少年育成大会などのイベントもあるので
そういうコーナーを設けることができれば良い。

課長 33年に作るとは言えないが、目標として進めていることは言っ
ても良い。

係長 カラーの用紙は近隣市町村の図書館の様子。長野県の図書館概況
も参考につけました。

委員 検討委員会でお願ひした内容を協議委員の方へ縦に流していき
たい。協議委員自体はどういうポジションなのか。熱意があるのにま
だ1回も開催されていない。

花井 毎年どの時期にやっているのか

課長 2回だったり6回だったりばらばら。基本的には別の会議になる
が、まるっきり別の内容ではない。協議委員は運営の仕方などを検討
していく。

係長 新しい図書館ができるまでは使っていくので、ソフト的な運営の
話は協議委員ですていく。開催はする。

委員 話すテーマを意味のあるものでいたい。

課長 協議会が遅れていることは申し訳ない。遅くなるが開催はする。

委員長 少しずつ色々な意見を集めていき、方向性を決めればと思う。
これからは花井さんに協力していただけるので、何かあれば直接話し
ていただき進めていく。